

## 日本医科大学(後期) 英語

2021年 3月4日実施

[ I ]

問 1  A composed     B putting     C encourage     D applies     E paid

問 2 番号 : 4

内容 : 原料からの加工を経た食品はすべて加工食品と呼ばれるが、超加工食品はその味や質感、保存期間を高めるため、さらに砂糖や脂肪、化学保存料などを追加したものである。

問 3 番号 : 5

理由 : 従来の研究は、何を食べたかを被験者が正確に報告してくれることに依存したアンケートや食事の記録のみによるものであり、食事と健康の間の直接的な因果関係を立証することができなかった。

問 4 記号 : (あ)

理由 : 第 7 段落第 3 文より、被験者にとって 2 つのメニューの満足度は同程度であり、超加工食品の方を好んで食べたとする記述はないから。

記号 : (か)

理由 : 食品に対する馴染み深さが食べる量に影響するという記述は本文中に存在しないから。

問 5 something in it (別解 : increased calorie intake)

問 6  1 (あ)     2 (え)     3 (こ)

< 講評 >

超加工食品が体重増加にもたらす影響について論じた英文。一つの長文に記述式問題とマーク式問題が集約された前期と異なり、再びそれぞれが別の大問となった。問 5 は本文からの抜き出しではないうえ、解答の手がかりも少なく難しい。問 2~問 4 の記述問題は引用すべき箇所を見つけやすいものが多いため、ここで得点を稼いでおきたいところ。

[ II ]

(解答例)

I think that ultra-processed foods are a problem in Japan. While food companies use artificial chemicals in order to enhance an item's flavor, texture, or shelf time, most consumers are not well informed of their potential danger. In fact, the research by Hall and his team showed that ultra-processed food can lead to overeating, which could end up numerous health problems. In addition, most people do not take the trouble to examine what kind of artificial chemicals are added in their daily meals. Therefore, the research like Hall's should be encouraged and made public in order to make people pay more attention to what they eat. (106 words)

<講評>

大問 I の議論を踏まえ、超加工食品が日本で問題になっているかどうかについて論じるもの。いわゆるジャンクフードの類は日本でも非常に身近なものであり、前期に比べるとかなり書きやすいテーマであったらう。

[Ⅲ]

問 1 (1) d (2) a, b

問 2 a, c, d

問 3 c, d

問 4 (1) c (2) a

問 5 (1) b (2) c

問 6 (1) a (2) b

問 7 (1) b (2) a

問 8 (1) e (2) a

<講評>

例年通り、発音・語彙に関する小問集合が出題された。前期に比べると全体に難しめの印象。特に発音問題は、発音とアクセントの融合問題になっているうえ、[i]と[i:], [ou]と[o:]など、微妙な違いを識別させるものが多く難度が高かった。

[Ⅳ]

問 1 b 問 2 c 問 3 c 問 4 b→a→d→c

問 5 d 問 6 b, c 問 7 a 問 8 c 問 9 a

問 10 d

<講評>

産褥熱の発見と、その原因の解明における Semmelweis 医師の尽力について論じた英文。マーク式問題は独立して一つの大問として出題されるスタイルに戻った。例年通り Choose ALL 型の内容一致問題が 2 問出題された。

【総評】

前期の長文は長めの文章(約 2,000 語) 1 題のみの出題であったが、後期では再び記述式問題とマーク式問題が別々の大問(各 1,200 語程度)で出題されるようになり、全体として読む量はやや増加した。しかし、内包された問題形式そのものはほぼ例年通りで、本質的に要求される力は変わっていないと考えられる。日本医科大学の内容一致問題は細部の検討が求められる難問が多いため、本文や選択肢の一語一句を慎重に参照することが求められる。

**メルマガ無料登録で全教科配信!** 本解答速報の内容に関するお問合せは… YMS ☎03-3370-0410 まで